

令和元年度 二番茶実収報告

佐賀県茶業試験場

1. 摘採日

本 年	前 年
6月10日	6月11日

注) 平成30年度より作況調査ほ場を変更したため、前5ヵ年平均はなし (以下同様)

2. 生葉収量 (kg/10a)

本 年		前 年	
収 量	指 数	収 量	指 数
591 ± 20	58	1019 ± 8	100

注) 指数は前年を100とした値 (以下同様)

3. 百芽重 (g)

本 年		前 年	
重 量	指 数	重 量	指 数
52.6 ± 3.5	65	81.1 ± 3.4	100

4. 新芽数 (本/m²)

本 年		前 年	
芽 数	指 数	芽 数	指 数
1588 ± 123	101	1569 ± 166	100

5. 出開度 (%)

本 年	前 年
63.2 ± 18.5	67.0 ± 5.6

6. 供試茶園の概況 (平成30年度より作況調査ほ場を変更)

- (1) 品 種 名: やぶきた
- (2) 樹 齢: 18年生
- (3) 樹 高: 73cm
- (4) 株 張 り: 156cm
- (5) 栽植様式: 畝幅 180cm、株間 50cm、条間 50cm (二条植え)
- (6) 施肥量: N : P : K = 50 : 20 : 18 kg/10a (年間7回分施)

7. 概要

1) 気象条件 (茶業試験場内観測)

(1) 気温

期間中の平均気温は、5月上旬および下旬は前5ヵ年平均より低かったが、5月中旬では前5ヵ年平均より約1.5、6月上旬では前5ヵ年平均より約1.0高かった。

(2) 降水量 (積算値)

期間中の降水量は、4月下旬は前5ヵ年平均より3割程度多かったが、5月に入ってから降雨がほとんどなく、5月上中旬は前5ヵ年平均の2割程度と非常に少なかった。二番茶の新芽生育期間の5月下旬は前5ヵ年平均より大幅に多かったが、6月上旬は前5ヵ年平均より少なく、前5ヵ年平均の6割程度であった。

4月下旬から6月上旬までの降水量は前5ヵ年平均比63%であった。

(3) 日照時間 (積算値)

期間中の日照時間は、4月下旬は前5ヵ年平均の約5割と少なかったが、5月上旬～6月上旬はほぼ前5ヵ年平均並みか多かった。

2) 調査園の生育並びに収量

萌芽期は、5月22日で前年より1日早かった。

摘採日は、6月10日で前年より1日早かった。

本年の生葉収量は591kg/10aで、前年比58%であった。一番茶摘採から二番茶摘採までの所要日数は46日で、前年と同様であった。

百芽重は52.6g(前年比65%)、新芽数は1588本/m²(前年比101%)で、新芽数は前年とほぼ同じであったが、新芽長が前年より短かったことから(前年比-3.4cm)、百芽重は前年より少なかった。出開度は63.2%であった。

3) 調査園の病害虫発生状況

調査園において、病害虫による新芽生育および収量への影響はみられなかった。

(参考)

気象概況 (2019年4月下旬～6月上旬、嬉野市)

観測点：嬉野アメダスポイント

